

# ITで産業構造が変わる

---

# インターネットによる業種・業態の変化

インターネットの  
普及と規制緩和



新規業種の創設  
異業種からの参入

主な変化

1. 新規企業の出現
2. 既存業種の業態変化
3. 異業種からの参入
4. 既存企業の業態拡大

# 1. 新規業種の出現

インターネットが普及したことによりポータルサイトやインターネット店舗などの新しい業種が出現



例： Yahoo Google (ポータルサイト)



Amazon 楽天市場 (インターネット店舗)



## 2. 既存業種の業態変化

- a. オンライン書店      1995年に創設したアマゾン・コムによってオンライン書店という概念が定着した
  
- b. パソコン販売
  
  
- c. 金融業界      対個人との取引が飛躍的に発展した  
講座への振込引落・残高の確認、株の取引      など

# 3. 異業種からの参入

インターネットの世界は

既存のノウハウ < 新しいアイデア

異業種参入の典型的な業界 銀行、証券、保険

- ソニー損保 ソニー銀行 (電器メーカー)
- イーバンク銀行 (伊藤忠=商社)
- ジャパンネット銀行 (さくら銀行と富士通=コンピュータメーカー)
- 新生銀行 イー・トレード証券 (大手出資者がソフトバンク)

## 4. 既存企業からの業務拡大

従来から店舗で販売していた小売業もインターネットで注文を受けるように

### クリック・アンド・モルタル

バーチャルな世界店舗とリアルな世界での店舗での戦略をうまく組み合わせること

### マーケット・プレイス

モノを買いたい企業(バイヤー)と売りたい企業(サプライヤー)が自由に参加できるインターネット上の取引市場

# 業界の変化

インターネットの普及によって産業界に起こった変化

1. 電子商取引の発展
2. 過去の資産が負債に
3. 系列・下請け構造の崩壊
4. 系列を超えた提携・合併

## 2. 過去の資産が負債に

例：銀行の場合

従来 有力な銀行ほど支店や店舗が多い

現在 インターネットによる処理が非常に安価

店舗の減少 インターネット取引の増加 ⇐ 大事な戦略

店舗を閉める → 顧客への説得、従業員の人事整理が必要に

よって、店舗を多く持つ有力な銀行はインターネット化に遅れる

# まとめ

産業界では、インターネットの活用、経済のグローバル化への対応とそれに伴う規制緩和により、新規業種の創出や異業種からの参入が盛んになってIT革命が進んでいる

これからもインターネットの進化によって産業の形が大きく変わり続けることが予想される